

令和 8 年度 入学式式辞

新緑が輝きを増し、すがすがしい春の風が吹き抜けていく今日のよき日に、ご来賓の播磨町長様、PTA会長様、並びに保護者の皆様ご臨席のもと、兵庫県立播磨南高等学校 第四十三回入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上ない喜びでございます。ご臨席賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。ただ今、入学を許可いたしました 160 名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうでございます。播磨南高校に入学してくれてありがとう。我々教職員一同は、皆さんのご入学を心より嬉しく思っています。

そして、保護者の皆様におかれましては、立派に高校生となられたお子様の晴れやかな姿を目の当たりにされ、そのお喜びはいかばかりかと拝察します。高校入学までの道のりは決して簡単ではなかったと存じます。ここまで新入生諸君を支えてこられました保護者の皆さまに心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、高校入学に向けて努力を重ねてきたことでしょう。「努力は裏切らない」と実感している人も多いことと思います。では、本当に裏切らないのでしょうか。皆さんの経験を思い出してみてください。どうでしょうか。

これから始まる高校生活において、心に留めておいてほしい言葉があります。それは、古くから伝わる「継続は力なり」という言葉です。

かつて野球で日米両リーグにおいて数々の大記録を塗り替えたイチロー選手は、その輝かしい成功の秘訣について、名言を残されています。一言一句間違えないとは断言できませんが、ネット上にあったものを紹介いたします。

「小さいことを積み重ねる事が、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。」や「結果が出ない時、どういう自分でいられるか。決して諦めない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。」などです。さらに、年間262安打を記録した周囲が驚くような偉業を成し遂げたときのインタビューで、「次の目標は」という質問に対して、彼は「次の安打です。これで終わりではないから」と言い切り、さらなる高みを目指し、再びバットを振り続けました。

これからの皆さんの高校生活も同じです。皆さんが心に描く夢や目標がどのようなものであっても、それを実現させる唯一の道は、日々の小さな努力を積み重ねていく「継続する力」に他なりません。高校生活の中では、思うようにいかず迷うことや、壁に

ぶつかり悩む時が必ず来ます。そんな時こそ、イチロー選手の言葉を思い出し、今の自分を「通過点」と捉え、粘り強く前へ進む一歩を積み重ねてほしいのです。

これまでの学習の成績や部活動の結果は関係ありません。今から始めましょう。そして、3年間継続していきましょう。失敗を恐れず前に進みましょう。もし失敗したら、その原因は何かを考えましょう。分からなければ聞きましょう。一人で悩まず必ず我々に相談してください。

そのような皆さんを、私たち教職員は全力でサポートしていきます。共に、元気に、前向きに、高校生活を意義あるものにしていきましょう。

保護者の皆さま、これからの世の中は先の見えない時代と言われています。学校生活も山あり谷ありになることが想像できます。子どもたちが立派な大人として本校を卒業してくれることを、共に悩み、考え、相談しながら歩んでまいりたいと存じます。

これからの時代を担っていく新入生の皆さんが、今の新鮮な気持ちを胸に刻み、心身ともに健康で、目的に向かって充実した学校生活を送れますようお祈りしまして、式辞といたします。

令和 8 年 4 月 8 日

兵庫県立播磨南高等学校長 吉行 智